

企画名	外来・病棟・救急判断から在宅医療まで、すべての医師に有用な『必修・プライマリケア心エコー診断(急性冠動脈症候群、肺血栓塞栓、水分バランス 他)のエッセンス』を習得する
企画責任者	長谷川 仁志 (秋田大学医学部総合地域医療推進学講座)
目的概要	<p>世界最高齢社会を迎えている日本の医療現場では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 約2－3割の頻度で症状や心電図変化がはっきりしない(エコーで瞬時診断できる)急性冠症候群(不安定狭心症・心筋梗塞)の症例の増加が予想されます。 ② さらには、動脈血ガス分析以外に検査異常所見の出にくい肺血栓塞栓症や、 ③ 心機能や腎機能の低下した高齢患者さんへの外来・入院・在宅等における継続的水分バランス指導、 ④ 症状がはっきりしない胸・腹部症状の判断 など <p>少しトレーニングすることにより、ちょっとしたきっかけで比較的簡単に診断できるようになる心エコーのプライマリケア領域における有用性は計り知れません。</p> <p>本ワークショップでは、これからの世界最高齢社会で医療するすべての医師・医療者にとって有用な心エコー検査について、上記に対応した①局所壁運動障害診断のポイント、②右心負荷診断のポイント、③下大静脈エコーのポイントを中心に、必修・プライマリケア簡易診断のトレーニングエッセンスを症例・画像ベースで集中レクチャーし、その後、基本手技の実践トレーニングをサーキット形式で行います。</p> <p>携帯用のエコー機器も普及し、外来・病棟・救急判断から在宅医療まで圧倒的に有用性が高いこの分野のエッセンスを集中的に学習することにより、プライマリケア・総合力をアップするきっかけとしていただければ幸いです。</p>